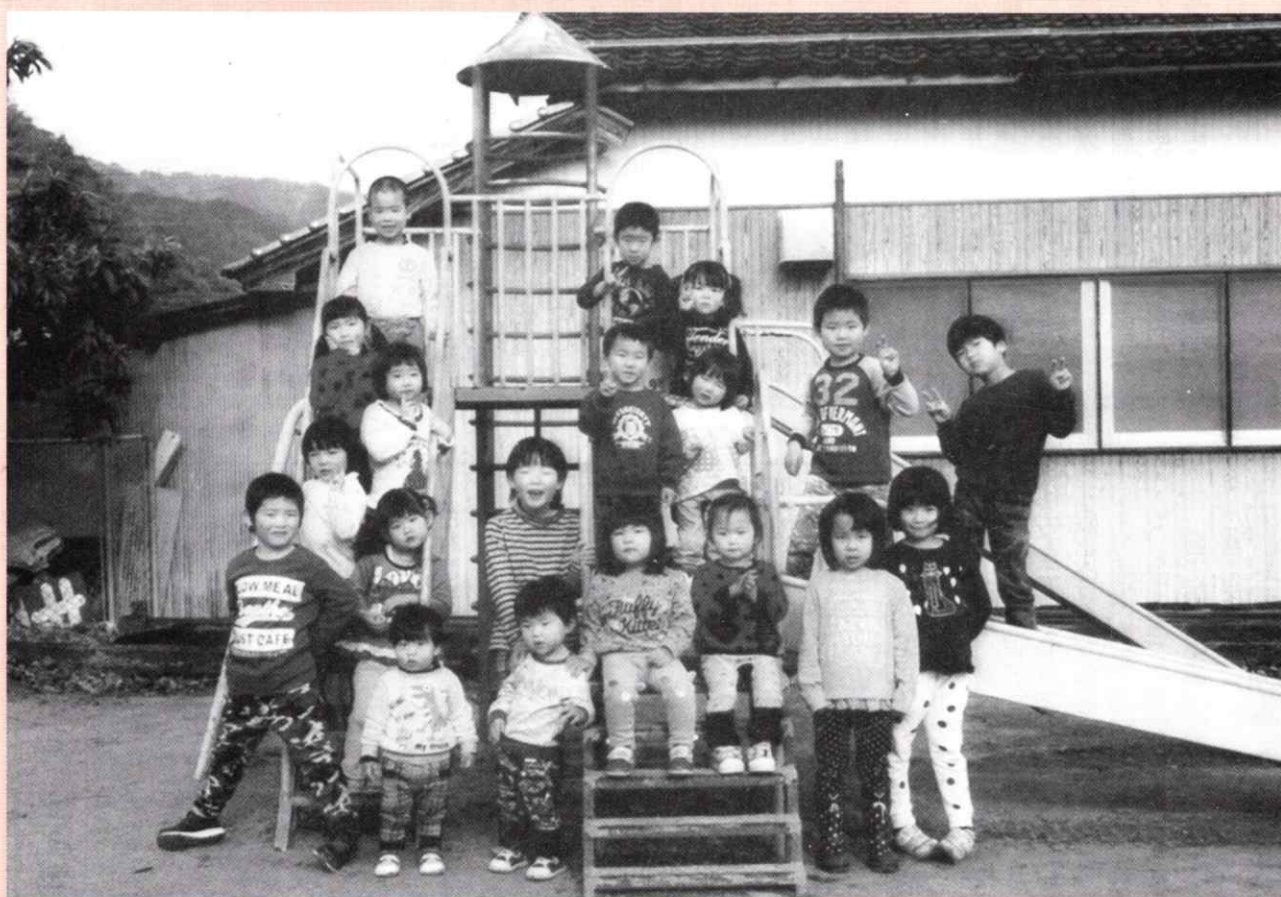


私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第46号

平成30年
3月号



おもな内容

会長あいさつ	2
活動報告・決算報告	2・3
防災ブック	4
まちづくり振興大会	5
まちかどフォト	6
輝く夜久野の子どもたち	7
まごころ銀行(ふるさと基金)	8

『思い出はいつまでも』

上夜久野保育園が、平成30年3月24日をもって
休園となりました。

豊かな自然と、地域の方々にあたたかく見守られ
ながら、のびのびと過ごした日々は、宝物です。

この宝物を胸に、新しい世界でも健やかに成長し
てください。

『平成30年まちが抱える課題を考える』

「変わるまちづくりとは？」

夜久野町連合自治会

会長 水谷 博

平成三十年四月一日、福知山市自治基本条例がいよいよ施行される事となりました。

昨年八月三十一日から、富野暉一郎委員長をはじめとする、福知山市住民自治検討会議が開催され、夜久野ブロックからは、夜久野みらいまちづくり協議会衣川裕二会長と連合自治会会長の二名が参加し、検討を進めてきました。

一月三十日には、福知山市新年度組織改編案が発表され、課を積極的に移管したり、分かりやすい名称に変更するなどして、「住民視点に立ち、市民サービスのさらなる向上を図る」としています。

現在の八部を七部に統合するなど、窓口業務の効率化（ワンストップサービス）の提供をアピールしています。その中で自治基本条例の施行を前に、まちづくりへの市民の参画、協働を推進する目的で自治会、地域協議会、市民協働事業などを包括的に所管する「まちづくり推進課」の設置が計画されています。これが決まれば、これまで統括する機関がなかった各関係団体との調整や、自治会、地域協議会の全体的な動きが把握しやすくなっていくと考えられます。

しかし、これからのまちづくりの問題は、市の抱える財政基金（貯金）と市債（借金）に大きく左右され、市債は約九七二億円、合併による地方交付税（加算分）が平成三十三年にはなくなるなど（七億円減）、第六次行政改革が八・六億円の削減を目指しているなか、さらに公共施設マネジメントが、公共施設の再配置（更新・統合・移譲・廃止）による、維持管理経費の削減を進め、自治会は更なる施設の見直しを迫られています。

年金受給者を多く抱えた地区は、危機的状況にある市財政構造の狭間に耐えられなくなっており、自らが財源を確保する手段を見い出さなければならぬ時代を迎えたと考えます。

時代の大きな転換期を迎え、自治会とまちづくり協議会是一心同体の心構えて夜久野のまちづくりを進めていかなければなりません。住民の皆様の一一人の力を、新たなまちづくりに反映させましょう。

平成二十九年度 定期総会

【活動報告】

①自治会組織の強化・支援

八月十八日・福知山市土木課からの二十九年度自治会要望書回答を得ました。一九六件中、未実施箇所の早期実現に向け、福知山市との協議を密に行い、上・中・下ブロックで未実施箇所の追跡調査後の回答をファイル管理し要求していきましました。九月十一日、京都府中丹西土木事務所自治会要望書回答が行なわれ、二十九年度一般自治会要望は二十六件提出されました。府民公募型整備事業二十八件が提出されました。府回答については、昨年依頼した資料の一元化が取り入れられたため、内容が分かりやすく管理しやすいものとなっています。次年度への要求を継続していきます。

②河川掃除委託費申請・支払の実施

京都府中丹西土木事務所・河川掃除委託費分配方法の調整を行ってきました。面積（㎡）での支払いを基準とするための基本台帳を完成しました。

今後の河川掃除の契約を効率的に行っていくための台帳の精度向上が、今後の大きな課題となっていくと考えます。

③「家庭」ミニ収集カレンダー・自治会だより」の発行

カレンダーの各戸配布や自治会だより四回の発行を行ってきました。自治会だよりでは、地区に伝わる風習や、夜久野なでしこ・輝く夜久野のこともたちなど、内容の充実が見られました。今後も、テーマ性を持たせた内容になるよう取り組んでいきます。

④安全で安心なまちづくり・自主防災組織拡大の促進（防災ブック作成）

今年度の自主防災組織の結成数は、新たに七自治会が加わり、全部で三十六となりました。（三月末日 見込み）自主防災組織の必要性が各自治会の共通認識となった成果と言えます。

防災ブック配布により、住民の危機意識レベルが向上し、

日本工業規格認定品石州瓦販売施工

天田瓦店

代表者 塚脇 英雄

夜久野町額田

TEL 37-1025

FAX 37-1025

住いのリフォーム、新築、増改築、設備のことは

(株)衣川製材所

福知山市夜久野町額田1406 TEL 0773-37-0036

平成29年度 夜久野町連合自治会 決算報告書(中間)

◎一般会計

平成29年4月1日～平成30年2月28日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	摘 要
繰 越 金	101,588	101,588	0	前年度より繰越金
会 費	630,000	619,000	▲11,000	500円×1,238戸
協 賛 金	200,000	195,000	▲5,000	26企業・団体
雑 収 入	3	3	0	預金利息(1・2)
合 計	931,591	915,591	16,000	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	7,200	0	7,200	施設使用料 他
通 信 交 通 費	25,000	25,265	▲265	切手・はがき・郵送料・封筒
事 務 費	20,000	23,737	▲3,737	コピー用紙・タックインデックス・リソグラフマスター
事 業 費	840,000	815,840	24,160	自治会だより(332,640)・ゴミカレンダー(43,200) プール運営助成(80,000) 事務局委託費(360,000)
予 備 費	39,391	0	39,391	
合 計	931,591	864,842	66,749	

(収入) 915,591円－(支出) 864,842円＝(差引残高) 50,749円

◎特別会計

府中丹西土木事務所と業務委託契約を締結し、委託料11,713,680円を44自治会に配分しました。

※ 年度末の決算につきましては、自治会だより第47号で報告します。

災害時に対する取組みが、自治会・個人で取り組めるきつかけとなりました。

また、消防北分署・消防団・支所には共通ファイルを置き、災害時の迅速な情報収集に活用することで、初動体制の効率化に役立てます。

「夜久野みらいまちづくり協議会」との連携を軸に、現状の問題提起を早期に解決していく組織(プロジェクト)への参画を行います。

⑤ 民生児童委員・主任児童委員との連携による災害時の連携支援の取組み

災害時ひとりも見逃さない運動、要配慮者の把握や独居老人等の災害時の支援体制の確立・連携をさらに強化し、今後自治会・民生委員の組織力で大災害に備えていきます。

⑥ 夏季期間中・プール管理の財政支援

プール運営委員会に参画し、地域のプール運営について共に考え、管理・運営面を充実させる支援を行ってきました。

⑦ 住みよいまちづくりの推進

夜久野学園統合後の旧三小学校跡地利用に係る、地元協議の推進を進めています。上夜久野自治会では、「上夜久野活性化委員会」の立ち上げを行いました。

⑧ 地域・地区公民館活動の協働と支援

地域公民館活動は、健康環境委員研修会・人権推進委員研修会・ふれあいいきいきフェスタなど、相互に連携を取り合い実施してきました。地区公民館では、秋の運動会において、三地区統一種目「スリッパ飛ばし」なども地域協議会の提案で取入れられ、雨の中各地域の盛り上がりにつながりました。

⑨ 森林事業への支援

森林事業が伸び悩む中、林業委員を中心とした山に対する研修会・講演等を行い、夜久野町の「山」に対する現状を学び、大雨から受ける影響の把握・開発の要因などを協議することが出来ました。

また、自伐林業への考え方も、今後の夜久野町における林業担い手育成や、財産確保の重要な位置づけとして、捉えていかなければなりません。

技に拘り、心を詩う

株式会社

株式会社 株式会社 株式会社

夜久野町今西中36

畑共同作業所

TEL 37-1291
FAX 37-1295



『今すぐやろう！次世代に伝えるべきもの』

【防災ブック発行にあたって】

①危機意識を高める情報収集

もしも今、夜久野町に大地震がおきたら。そのときひとり家にいたら？真冬だったら？真夜中だったら？町が一瞬にして姿を変える瞬間、あなたはどうしますか？

今想像し、正しい知識を得、情報を出来る限り蓄えましょう。

家族や、近所の人たちと話ししましょう。気が付かない事が見えてきます。一つ一つの小さな備えが、あなたを守る盾となり、災害と戦える力を養いましょう。

30年以内に70%以上の確率で発生すると予測されている「南海トラフ巨大地震」の脅威が迫っています。

京都府発表の被害予測は次の通りです。

○人的被害1万7980人
*死者860人・負傷者1万4650人・
要救助者2470人
○建物被害7万210棟
*焼失5万4470棟・全壊1万5740棟

などが発表されています。京都府情報提供として次の機関が挙げられます。

●京都マルチハザード情報提供システム

地震・津波・土砂災害など、関連して起こる複数の災害を想定して、指定地点の危険度を表示します。

●京都危機管理WEB

地震・津波情報は、気象庁の情報と連動して提供します。

●防災・防犯情報メール

登録すると、選択した気象情報・防災防犯情報が配信されます。お住まいの直結した情報の入手が可能。

指定アドレスに空メール送信で登録できます。

◇登録ページ lanzen@k-ansin.pref.kyoto.jp

今すぐやろう！

防災に関する行政からのチラシ・新聞・ハザードマップ・自治会連絡網・電話帳など「次世代防災BOOK」に綴じ込み、電話器のすぐ横に置いてください。

②我が家の災害時の情報の提供

防災の基本は「自助」ですが、万が一の時に対応できるよう「次世代防災BOOK」には、自分の情報・家族の情報を記入するページを設けています。

今すぐやろう！

●自分の情報の記入！

氏名・生年月日・血液型・在治療中の病名・病院・担当医・飲み薬の種類など、怪我をしたときに、救急隊に提示することで、病院との連携が最速になります。

●家族の情報の記入！

家族氏名・住所・連絡先など、搬送時連絡できることから、家族への対応が早く正確に行えます。

大げや、災害にあつたときのために、常に自分・家族の情報を新たなものに更新しながら、情報提供できるよう、災害に備えて下さい。

③災害時の心得

今回作成した防災ブックは、災害時に備え、まず自分で今何が出来るかを考え、正しい認識の中で、やってはいけない事、やらなければならない事の説明をしています。

ただ救助を待つだけでなく、災害から身を守る備えと、知識を普段から身に付け、多くの情報を耳に、最も安全と思われる行動をとってください。

「災害マニュアル」は一例ではありますが、やってはいけない事も記入しています。まず火を消し、火災を出さないことが第一優先になります。

しかし、そのことも不可能な状況にあった場合、近隣の家屋に連絡をいち早く行うなど、適切な判断をしなければなりません。

災害時に頼る「救助」。しかし、その第一線にある消防団にしてもやはり限界があり、多くの団員が地域外で勤務されているため、災害時にすべての住民の避難誘導を行なえるものではありません。

今すぐやろう！

もし消防団が機能しなかったら？

誰も救助に來ないときの備蓄は？

「災害マニュアル」には最小限備えたいアイテムをチェックリスト形式で表示しています。最低限の備蓄を常日頃から心がけ、自らの「自助」の意識を高めていきましょう。

【防災に対する備え】

「自分を守る。生き抜く。」

ただ救助を待つだけでなく、災害から身を守る備えと、知識を普段から身に付け、多くの情報を蓄え、最も安全と思われる行動をとってください。個人の情報を各自治会の情報として次世代に継承し、「災害に強い夜久野町」になっていくことを願ひ発行するものです。製作期間三年、総額95万7981円・回収データ1114件（回収率約95%）

以上多くの住民の方のお力により、無事に完結出来ました事、心より御礼申し上げます。

墓石・墓苑のご用命は

高内石工組合

〒629-1313 京都府福知山市夜久野町高内142 TEL (0773)37-0116

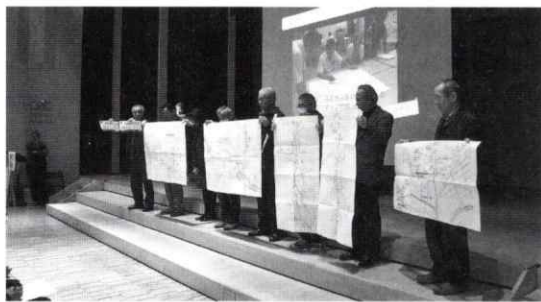
ひとひとりが主人公 まちづくり振興大会

2月18日(日) 於：夜久野ふれあいプラザ

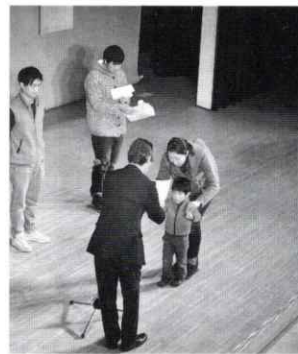
「まちづくり振興大会」は協議会の活動も含めて『夜久野の地域づくり』を軸に活動発表を通して研修と交流をはかる目的で開催し、今回で3回目となりました。

連合自治会と夜久野みらいまちづくり協議会と夜久野地域公民館が協力して開催。夜久野に住む人を「宝」「資源」ととらえ、たくさんの宝がきらめく大会になるよう運営してきました。

まちづくり協議会の平成二十九年度の活動を、4つの部会員がそれぞれ発表しました。



地区体育大会で初めて試みた「3地区共通種目『スリッパ飛ばし』」の表彰式を行いました。



4つの部会の代表者と塩見直紀さんによるパネルディスカッション。松井裕督さんのコーディネイトにより、実際の活動をもとにした、率直な意見交換ができました。



講演は、『半農半×という生き方』の著者である塩見直紀さん。地域にある様々な資源(宝)に目を向けて、活性化をはかることを、実例を上げてお話いただきました。



参加者は92人。「自分たちの地域は自分たちでよくする」という思いを共有できました。

【参加者の感想より】

- ・「まちづくり協議」の活動には以前から興味がありましたが、初めて参加しました。がんばって活動されており感銘を受けました。
- ・「ないものねだり」から「あるものを活かす」「できないこと」より「できること」を続けていくことで、新しいものが生まれるのではと感じました。
- ・住民が自ら学ぶことの大切さを改めて感じた。
- ・智恵を出して、少しでも明日を良くしていきたい。



なんでもそろてる スポンジや
山本産業株式会社

〒629-1322 京都府福知山市夜久野町平野2127
TEL(0773)38-1101(代) FAX(0773)38-1104(代)

燃料油 潤滑油 (有)藤本石油夜久野給油所

〒629-1311 京都府福知山市夜久野町日置1104
TEL (0773)37-0805 FAX 37-1170

夜久野土木企業組合

福知山市夜久野町板生2697-2
TEL 0773-38-0860 理事長 中村 敏昭

野菜の育種 野菜苗
有限会社 夜久野育種農場

〒629-1323 京都府福知山市夜久野町板生29
TEL&FAX(0773)38-1235 E-mail:globot@mxn.kansai.ne.jp

松田電器

TEL 37-0043 FAX 37-0043

輝く夜久野の子どもたち

学園への様々なご支援、本当にありがとうございます。

副校長 桐村 恵美

全国的な低温や降雪により、日常生活や交通機関などに影響が出る中、学園もスクールバスの運行を心配しましたが、地元業者の方、保護者・地域の皆さんにバスの運行経路や自宅からバス停、徒歩通学路等の除雪をしていただいたおかげで通常の学校生活を送ることができました。深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

昨年、4月に小中一貫教育校夜久野学園に着任し、小中学生とともに生活する学園の毎日は、新鮮な出会いの連続でした。中でも結クラブの皆さんをはじめ、多くの地域の方々が、登下校の見守りや1・2年生の生活科での野菜作り、1年生・9年生が総合的な学習等で取り組む「ふるさと未来学」の講師など学園の教育活動に惜しみなくご協力をいただいている姿に感謝の思いを持つとともに、子どもたちは幸せだなと感じました。こんなに地域に応援されている学校は、他にはありません。

これからも、朝のあいさつ放送、ふれあいいきいきフェスタや夜久野のみらいを語る集いなど、子どもたちが、町民の皆さんに思いを伝える場において成長している姿を見ていただけるよう教職員一同精一杯取り組んでまいります。平成30年度に本校は開校6年目を迎え、さらにステップアップを目指していきます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



上夜久野保育園 長い間ありがとうございます
またね またね

またね またね

夜久野町立上夜久野保育園として開園し、昭和37年に第1回の卒園児42人の巣立ちから始まり、平成29年度の卒園児6名の見送りを最後に休園となりました。途中に一度建替えられてはいますが、上夜久野保育園の卒園生1145名が沢山の経験を積みながら立派に育ち巣立った歴史ある保育園です。この子ども達は、今では夜久野の先輩となり夜久野の郷のため色々な事に取り組み活躍をされている方々、大きな夢や希望を持ちそれぞれの地で生活をしながら夜久野を見守っておられる方々とさまざまですが、この上夜久野保育園で楽しい時期を過ごされた思い出は心に残っている事と思います。

今は少子化が急速に進み当時の賑わいが夢であったかのような少人数の保育園になりました。在園児は0才から5才までを合わせて20名ですが、元気な子供たちで広々とした保育園を悠々と使いたい一杯遊んでいます。そして毎日、笑い声とあしやべりと歌声が響きわたっています。四季を活かした保育では、春は、夜久野ヶ原での野菜作りや田舎山登り、夏は、川や泥んこ田んぼ遊びに夜久野高原まつり、秋は、野菜や果物の収穫と色々な地域への散歩、冬は、雪遊びに饅頭作りやお抹茶体験等、上夜久野の自然を満喫しながらの毎日、住まわれている方々の経験と善意のいっばい詰まった助けがあればこそ実施することが出来ます。

した。こんなに楽しい園生活の思い出は人に会えば、その場所を見れば思い出事です。本当に皆様有難うございました。今後は夜久野の子ども達が一堂に集まり保育を受ける楽しい日々が始まります。穏やかな暖かさの中、照りつく暑さの中、空

高き青空の中、凍てつく寒さの中、負ける事なくたくましく育つ子ども達です。多くの皆様がこの地に住むすべての子ども達の未来が健やかで希望に満ちた前途であることを心から応援してくれています。上夜久野保育園が休園後も良き伝統を活かしながら引き続き保育を進めてまいりますので、今まで同様ご理解・ご支援をよろしくお願い致します。



有限会社 夜久野自動車整備工場

京都府福知山市夜久野町額田1396
TEL 0773-37-0072

有限会社 大江商会

代表取締役 大江 友忠
夜久野町額田1235 TEL 0773-37-0038

平成29年度 「夜久野ふるさと基金」 事業報告

夜久野ふるさと基金運営委員会
委員長 水谷 博

「夜久野ふるさと基金」につきましては、今年度も皆様方のご理解と温かいご支援のもと、多くの篤志をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

この篤志につきましては、運営委員会で協議をもち、下記のとおり、自治会保険加入のほか、夜久野地域の福祉・文化・教育活動等に活用させていただきました。

今後とも、地域の皆様のご意見をいただきながら、「夜久野ふるさと基金」のより良い運用を図っていきたく存じますので、引き続きご協力をお願い致します。

記

- (1) 自治会活動支援として、夜久野町連合自治会「自治会保険」の加入
- (2) 夜久野地域の活性化に向けて、「ふれあいいきいきフェスタ」支援
- (3) 子どもたちの健やかな成長を支援
夜久野学園 寄贈 グラウンド用大時計の取替え
上夜久野・下夜久野保育園 支援 演芸の鑑賞
- (4) 福知山防犯推進協議会夜久野支部 “安心・安全のまちづくり事業” 支援
- (5) 防災ブック作成支援

平成29年度 夜久野ふるさと基金決算書 (中間)

3月6日現在

【収入の部】 (単位円)			【支出の部】 (単位円)		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
繰越金	1,355,258	H28年度繰越金	保険料	333,580	平成29年度自治会保険料
寄付金	737,000	篤志寄付23件 (670,000) 仏教会 (67,000)	会葬事務	24,840	会葬はがき・封筒各3,000枚
雑収入	110	保険料返金	粗品代	30,000	線香セット(お供) 30セット
利息	9	預金利息 (5+4)	寄贈品	192,240	夜久野学園 (電波時計)
収入合計	2,092,377		印刷代	35,000	夜久野ふるさと基金だより (H28年度)
			事務費	50,000	事務委託費
			事業補助	196,236	夜久野町連合自治会(防災ブック作成費)
			事業支援	174,344	福知山防犯推進協議会夜久野支部会 (30,000) ふれあいいきいきフェスタ実行委員会 (104,344) 上夜久野・下夜久野保育園 (40,000)
			支出合計	1,036,240	

収入2,092,377円－支出1,036,240円
＝1,056,137円

次年度繰越金予定額 1,056,137円

会計 新宮 春雄

年度末の決算につきましては、後日「夜久野ふるさと基金だより」にて報告いたします。

夜久野町の人口は 平成30年2月末日現在

- ☆人口 3,451人 (-99人)
(男) 1,648人 (-38人)
(女) 1,803人 (-61人)
☆世帯数 1,534戸 (-23)
()内は昨年同期

(市人口統計表による)

☆平成三十年三月

亡父供養 足立 俊長 様(下原)

亡母供養 藤原 久子 様(西中)

亡父供養 吉川 朋章 様(西中)

亡母供養 吉川 久子 様(西中)

☆平成三十年一月

亡父供養 浅倉 茂輝 様(下町)

亡母供養 大本 文雄 様(奥)

亡父供養 山口 弘喜 様(向)

亡母供養 衣川 吉行 様(平野)

☆平成二十九年十二月

篤志ありがとうございました。

ふるさと基金

まごころ銀行

編集後記

幾度にもわたる編集会議を経て平成二十九年度の最終号をお届けすることが出来ました。

今年も昨年に引き続き災害対策に関する事業が多く報告されておりありますが、根底には「地域の絆」を大切に、「安心」で「安全」な地域の環境づくりに腐心されている様子をうかがい知ることが出来、かつ、青少年の情操教育や今後の自治会活動のヒントを見たとような気がします。

今、これからが「地域力」の試される時期だと痛感しています。住民の皆さんが、今まで以上に自治会活動に理解と関心をお持ちいただき、お互いの思い、意見の発信、情報交換の場として、また地域でさまざまな分野で活躍されている方々の紹介さらには夜久野町を中心にした文化・スポーツあるいは趣味の活動をされている各サークル・クラブの紹介の場として、この広報誌を広く利用・活用していただければありがたい存じます。

最後になりましたが、日々のご多用の中、掲載原稿や写真の提出に特段のご協力頂きました事に心から御礼申し上げます。

この一年間ありがとうございました。